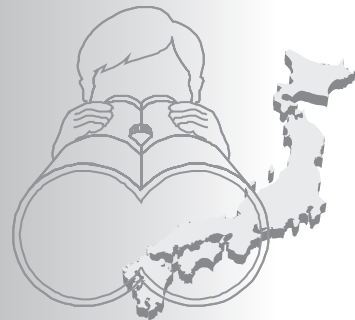


日本列島 組合探検隊



ITを活用した 事業推進

IT活用による個人・企業情報の管理強化、戦略的活用

～飛鳥グループ協同組合（岡山県）～

◆背景と目的

冠婚葬祭を中心としたサービスを提供する当組合では、平成16年頃から組合事業拡大に伴い、組合が保有する情報の管理運用が営業戦略上大きなウェイトと責任を持つようになり、組合が保有する顧客情報に対して戦略的な運用及びその保護を目的としたセキュリティ対策の一元的な運用ポリシーが明確化されていないことが問題となってきた。

平成17年度に情報漏洩対策の体系的な整備と情報の統合による戦略的な活用方法の確立を目指し、基幹システムを「統合型基幹情報ネットワークシステム」に移行して情報の一元化を行い、そのデータを運用する際の入出力環境のログを管理する体制を構築することにより、効果的な情報環境を整備することとした。

◆事業・活動の内容

これらの実現のため、組合内で役員を中心として委員会を組織し、中小企業活路開拓調査実現化事業における組合等情報ネットワークシステム等開発事業を活用して、情報漏洩対策の体系的な整備と情報の統合による戦略的な活用方法の確立を目指し、基幹システムを下記のシステムに移行して情報の一元化を行った。

- ①統合型基幹業務アプリケーションの導入による顧客データベースの統一化
- ②ログ収集を主としたデバイス・アプリの導入による業務フローの標準化
データを運用する際の入出力環境のログを管理する体制を構築することにより、効果的な情報環境を整備することができた。

◆成果

情報環境の整備により、情報漏洩対策の体系的な整備の実現とともに、情報統合により組合並びに組合員各社の事業における戦略的な活用方法が確立され、組合員企業の販路拡大に繋がり、売上高は20%アップ、会員は約1万人の増加となった。



組合ホームページ

【組合の概要】

所在地：岡山市南区福富中1丁目1-7
電 話：086-242-3535
設 立：平成7年4月 組合員：6名
U R L：http://www.asuka.or.jp/

事業の 国際的展開

博多織織元がヨーロッパでの販路拡大事業に挑戦

～博多織工業組合（福岡県）～

◆背景と目的

10数年前から博多織のドレス、バッグ、小物などの開発に着手し、その後の改良により数多くの格調高い製品が生まれているものの、まだその価値が広く認識されるに至っていない。

日本文化は、芸術や食の分野でヨーロッパ人の間に関心が高まっている。そこで福岡の伝統工芸品もヨーロッパ人の間に大きな関心を引き起こすことが予想され、パリにおけるファッションショー開催に結びついた。

◆事業・活動の内容

平成20年10月、西日本新聞社と日本デザイナークラブの企画により、久留米絹とジョイントしてパリでファッションショーを開催した。博多織工業組合の参加組合員は、西村織物(株)、筑前織物(株)、岡崎陽氏である。

出品は帯、着物などに加えてドレスや小物類となった。特に博多織ドレスは10数年前から開発に取り組み完成度は高い。天然シルクの光沢あるドレスの美しさはフランスのバイヤーにもインパクトを与えて、ショーの終了後織元に引き合いも生じている。

◆成果

販路開拓を主要な目的としていたが、出展した織元へは、フランス企業からの引き合いが数件入っており、現在も商談続行中である。フランスでのファッションショーは国内でも大きく取り上げられ、博多織織元の新しい取り組みについて、知名度が向上し国内での販売にも良い影響を与えている。一過性の取り組みに終わらず、ヨーロッパのバイヤーに対して営業活動を継続することで、成果に結びつける必要がある。



博多織の伝統を生かした
ウェディングドレス

【組合の概要】

所在地：福岡市博多区博多駅南1丁目14-12
電 話：092-472-0761
設 立：昭和34年5月 組合員：41名
U R L：http://www.hakataori.or.jp/